

# Mizuho Daily Market Report

2023/7/19

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	138.22	138.83	+0.12	▲1.53
EUR	1.1254	1.1229	▲0.0007	+0.0220
AUD	0.6809	0.6811	▲0.0005	+0.0125
SGD	1.3216	1.3228	+0.0009	▲0.0182
CNY	7.1736	7.1864	+0.0129	▲0.0234
MYR	4.5380	4.5398	+0.0025	▲0.1192
THB	34.22	34.22	▲0.40	▲0.60
IDR	14997	14995	▲10	▲145
PHP	54.42	54.42	+0.04	▲0.86
INR	82.01	82.03	▲0.02	▲0.34

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.785%	▲2.2 bp	▲18.5 bp
日本(10年)	0.480%	▲0.1 bp	+2.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.355%	▲9.3 bp	▲29.4 bp
オーストラリア(5年)	3.845%	▲2.8 bp	▲24.3 bp
シンガポール(5年)	2.992%	▲6.0 bp	▲21.6 bp
中国(5年)	2.403%	▲1.3 bp	▲1.3 bp
マレーシア(5年)	3.553%	+0.0 bp	▲6.9 bp
タイ(5年)	2.321%	+0.1 bp	+0.7 bp
インドネシア(5年)	5.881%	▲1.1 bp	▲5.0 bp
フィリピン(5年)	6.109%	▲2.5 bp	▲17.9 bp
インド(5年)	7.018%	▲3.2 bp	▲5.8 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,951.93	+1.1%	+2.0%
N225(日本)	32,493.89	+0.3%	+0.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,369.73	+0.3%	+1.9%
ASX(オーストラリア)	4,066.80	+0.7%	+2.4%
FTSTI(シンガポール)	3,254.26	▲0.0%	+2.9%
SSEC(中国)	3,197.82	▲0.4%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	1,403.03	▲0.2%	+0.8%
SETI(タイ)	1,535.30	+0.4%	+2.6%
JKSE(インドネシア)	6,830.203	▲0.5%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,528.80	▲0.3%	+2.0%
SENSEX(インド)	66,795.14	+0.3%	+1.8%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.86	+1.5%	+1.6%
金	1,978.72	+1.2%	+2.4%
原油(WTI)	75.75	+2.2%	+1.2%
銅	8,444.99	▲0.3%	+1.7%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	137.80	-	140.40
EUR/USD	1.1160	-	1.1300
AUD/USD	0.6740	-	0.6870
USD/SGD	1.3160	-	1.3300
USD/CNY	7.1750	-	7.2180
USD/MYR	4.5180	-	4.5880
USD/THB	33.90	-	34.30
USD/IDR	14930	-	15080
USD/PHP	54.20	-	54.80
USD/INR	81.80	-	82.45

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は138円台後半でオープン。公示仲値決定のタイミングにかけ実需の買いもありドル円は小幅に上昇したが、その後は日経平均株価が上げ幅を縮小する動きにドル円も138円台前半まで反落。午後にかけては同水準でもみ合い138円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は小幅上昇。アジア時間にややドルが軟調に推移したタイミングにかけ対ドルで小幅に上昇した。タイバーツは連立政権樹立を目指す党連合がビター党首を首相候補として支持するとの報道を受け、政治的不透明感が後退するとの期待感から上昇した。

海外時間のドル円は、138円台前半から半ばにかけての水準で推移し米州時間入り。米州時間朝方に発表された米6月小売売上高の予想を下回る結果を受け、発表直後はドル売りで反応し、137円台後半まで下落するが、コアの部分では予想を上回っている事が材料視され、138円台半ばまで反発。続いて発表された米6月鉱工業生産は予想より悪化し、再び売りが優勢となったが、その後植田日銀総裁が「2%のインフレ達成にはまだ距離がある」「金融仲介機能や市場機能に配慮しつつ、YCCのもとで粘り強く、金融緩和を続けていく」との発言を受けて、日銀による政策修正の思惑が後退し、円売りが強まると138円台後半まで上昇。米州時間午後も底堅い推移が続き、139円台前半まで上昇幅を拡大させ139円近辺でクローズ。

## 【金利】

米金利市場は、長期で低下し、金利カーブはツイストフラット化。米州時間朝方に発表された6月小売売上高および6月鉱工業生産などが予想比低下したことで発表後金利が低下。しかし引けにかけては来週に行われるFOMC会合において利上げが決定される予想が持続していることから売り戻しがあり、中期ゾーンでは前日比上昇して終了。

## 【予想】

ドル円は底堅い値動きを予想。米指標結果を受けドル売りが優勢となるも、来週のFOMC会合における利上げ織込みは後退していない中、ドルは底堅く推移するものと予想。また、植田日銀総裁のコメントを受け、日銀の政策変更期待も低下する中、円は売られやすい地合いにあると考えられ、ドル円は底堅く推移するものと予想。

## 【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札  
(日本) 第169回芥川・直木賞発表  
(アジア) 2Q NZ CPI  
(アジア) 6月 NZ 非居住者 国債保有率  
(アジア) 6月 豪 ウェストハック 景気先行指数  
(アジア) 休場 インドネシア、マレーシア  
(欧州) 5月 ユーロ圏 建設業生産高  
(欧州) 5月 英 住宅価格指数  
(欧州) 6月 ユーロ圏 CPI(確)  
(欧州) 6月 ユーロ圏 EU27国新車登録台数  
(欧州) 6月 英 CPI  
(欧州) 6月 英 小売物価指数 / PPI  
(欧州) 7月 愛 消費者信頼感指数  
(欧州) 独 国債入札(30Y)  
(米国) 6月 住宅建設許可 / 住宅着工件数  
(米国) 6月 建設許可件数 / 住宅建設許可 / 住宅着工件数  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。